

Part 1. 問題解決の枠組みを拡げる

「鳥獣害を超える」

～なぜ必要か／**どのように実現できるか**～





「鳥獣害を超える」ために

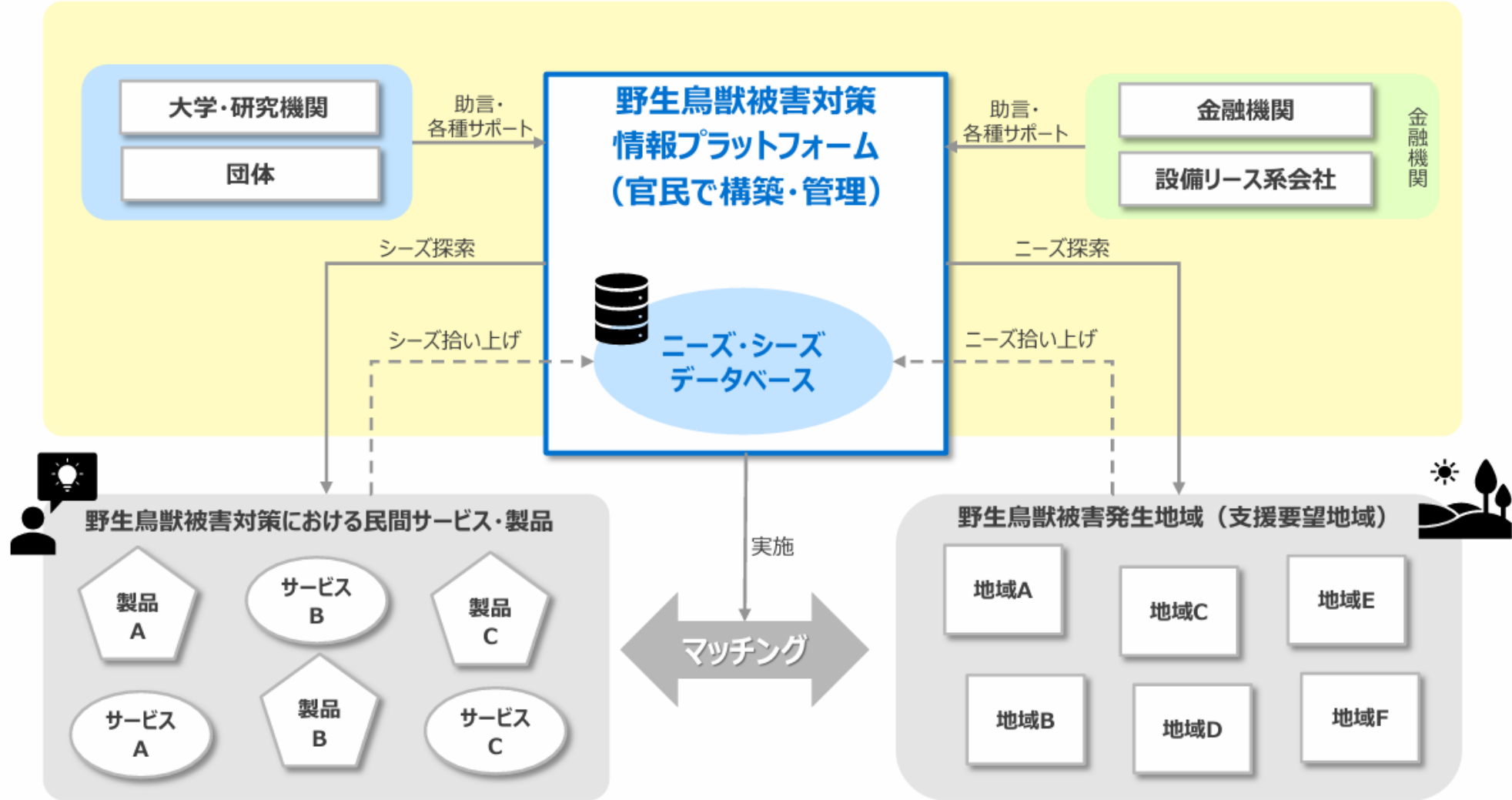
誰が？

どうやって？

- ・ビジョン（理想像・ゴール）を掲げる
- ・スキーム「具体的な枠組み・方法・仕組み（どうやるか）」を検討し、改善していく

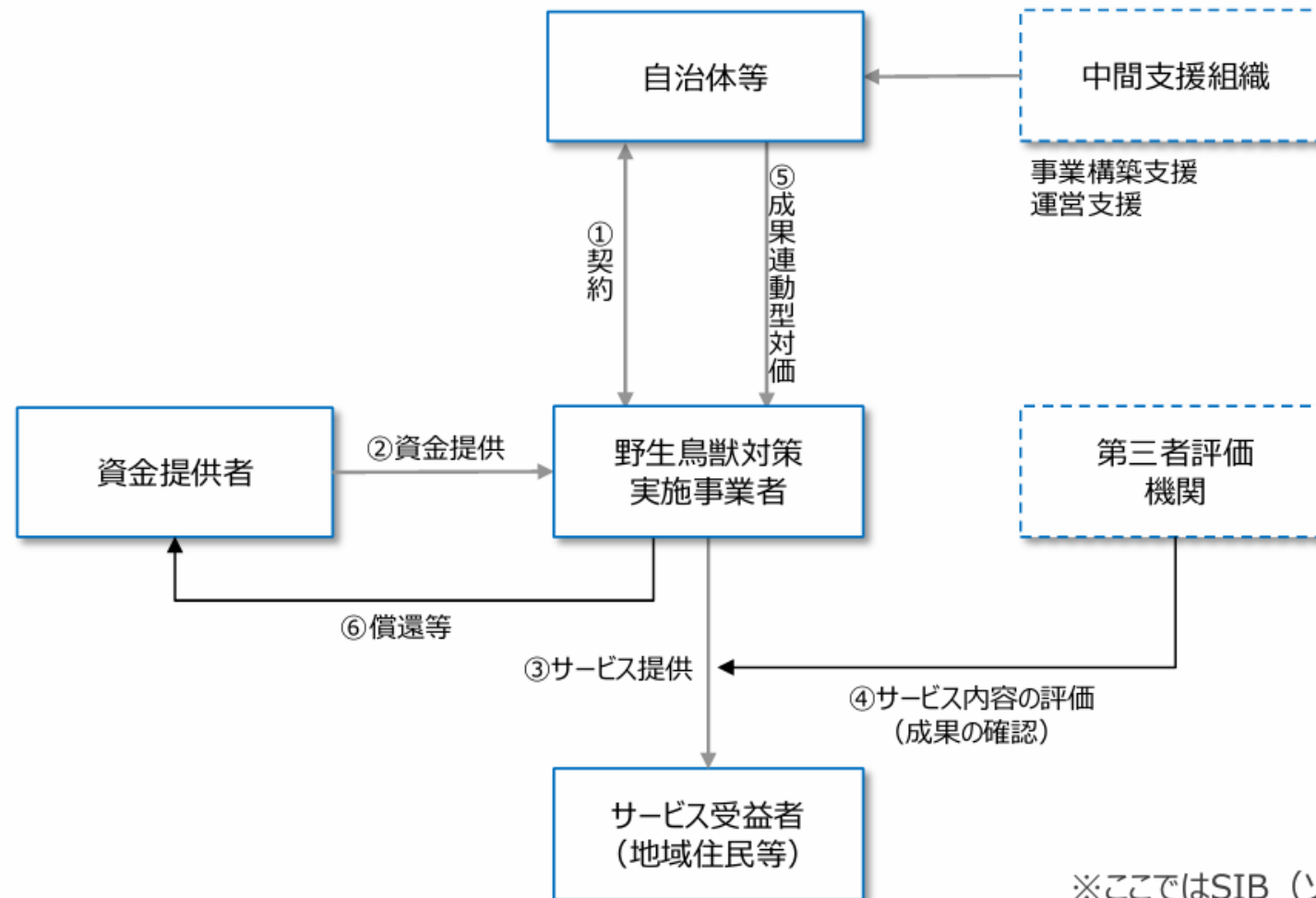


政策のイメージ① 情報マッチング



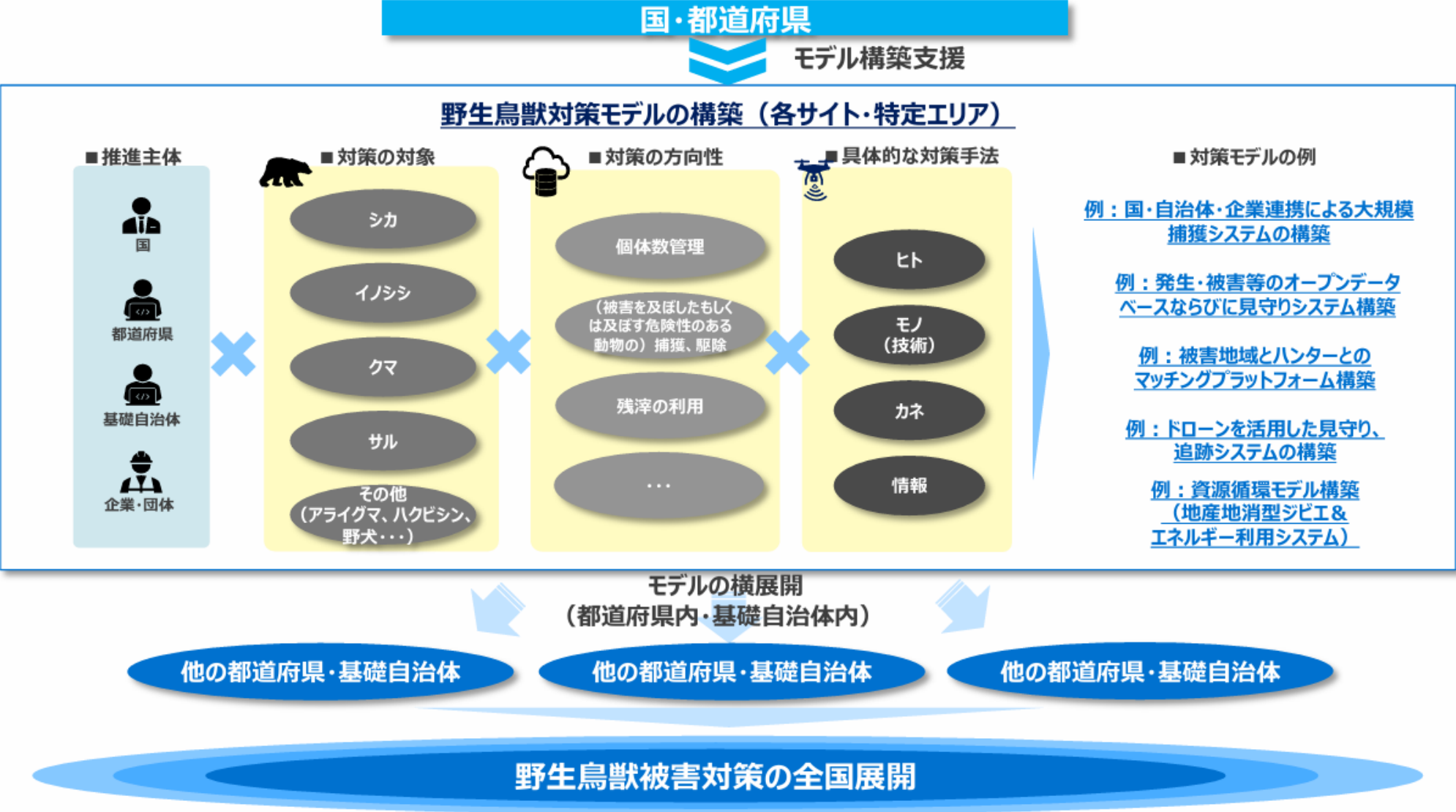
出所:株式会社日本総合研究所作成

政策のイメージ② 成果連動型委託（PFI/SIB）



※ここではSIB（ソーシャル・インパクト・ボンド型）を例に

出所：各種資料をもとに株式会社日本総合研究所作成



大阪開催

令和8年2月26日（木） 13:00～17:00※予定

テーマ

Part.1～地域支援を担う人材の活用

鳥獣被害対策の事例講演・パネルディスカッション

① 解題【13:00～13:20】

鳥獣害を超えるための地域支援～誰が／どのように地域を支えるか～

講演者 特定非営利活動法人 里地里山問題研究所／鈴木 克哉 氏

② 取組事例紹介【13:20～14:20】

人と食を活かした獣害対策の可能性～管理栄養士から見た獣害対策は都会の食問題を救う～

講演者 丹波篠山市獣がい対策支援員／木下 麗子 氏

鳥獣被害対策から村おこしを～ピンチをチャンスに～

講演者 タイガー株式会社／小林 一木 氏

「獣害対策」を「地域の価値」へ変える人材活用～千葉県南房総におけるジビエ・里山保全を通じた関係人口創出～

講演者 合同会社アルコ／沖 浩志 氏

（休憩10分）

③ パネルディスカッション【14:30～16:00】

コーディネーター 特定非営利活動法人 里地里山問題研究所／鈴木 克哉 氏